県指定史跡　島田塚

種別	佐賀県指定史跡
所在地	唐津市鏡 Google Mapで表示
指定年月日	昭和47年（1972）3月29日

島田塚は、鏡山の東北麓の砂丘上に位置する小型の前方後円墳です。周辺には樋の口古墳や玉鬘窟古墳などの古墳時代の遺跡が所在します。

墳丘についての詳細な調査は行われていませんが、全長約33m、後円部径17m、前方部長16mとされています。

内部主体は長い羨道を持つ大型の横穴式石室です。長い羨道をもつ石室としては国内初期の事例となります。石室の入り口付近の石積みは、一部に後世の改変を受けています。石室奥壁際には、蓋石のない舟形石棺が安置されています。石棺の長辺側には、3ヵ所ずつ突起が造られています。

島田塚が造られた時期は、横穴式石室の構造と出土品の特徴から6世紀前半代とされていますが、石棺についての想定される製作年代は、5世紀前半代ですので、100年近い開きがあります。

島田塚は江戸時代から鏡神社の四方塚の一つとして古くから知られていましたが、明治時代の終わりころの開墾により石室の天井部が開口し、多数の副葬品が出土しています。現在、出土品は東京国立博物館（当時は東京帝国博物館）に収められています。主な出土品には、金銅製の冠や垂飾品の他に銅椀や銅鏡などの銅製品、甲冑や鉄刀などの鉄製品があります。

島田塚は、6世紀前半代の唐津市域の首長墓と考えられ、出土した豊富な副葬品からは、大陸との深い結びつきをうかがい知ることができます。

問い合わせ
生涯学習文化財課
〒847-0013　佐賀県唐津市南城内1番1号
大手口センタービル6階
電話番号：0955-72-9171